

川田市長と

まちかど

開催報告

タウンミーティング

開催概要

日時:令和6年11月29日(金)午後6時～7時

会場:生涯学習センター

参加者:11名

テーマ:子育て

タウンミーティングの流れ

- ① 開会
- ② 開催の目的と概要、こども・子育てを取り巻く環境について(課題整理)
八幡市で行っている子育て支援施策について、まとめ ※市長による説明
- ③ テーマについて意見交換 ※参加者と市長との意見交換
- ④ 閉会

【意見交換の主な内容】



参加者

遊びの広場「おひさまテラス」について、一時保育も始め、利用者が増加している。しかし、使用している男山A団地集会所は老朽化が進み、参加者が増加したことで手狭である。使用していない公共施設を開放し、集える場所を作ってほしい。



市長

「おひさまテラス」に携わる皆様には大変ありがたく思っています。市として、今後もお力添えできる支援があればと考えています。公共施設の跡地活用については、本市全体としての市民ニーズ把握をふまえ、全庁横断的な検討が必要です。公共施設の再編を、どのように計画立てを行うのか、今後検討してまいります。



参加者

八幡市で小児夜間救急が毎週金曜日のみで、その他は京田辺市や宇治市に行かなければならない。

他市に行くときの交通費の補助を考えてほしい。

また、洋式トイレしか使用したことがない子供が多い。

学校施設に和式があり、トイレに行けず病気になる子もいると聞いた。学校施設や市の公共施設のトイレについて洋式にしてほしい。



市長

トイレの洋式化について、市内小学校や公共施設等で順次行っているところです。ご不便をおかけしています。

また、小児夜間救急医療体制については、私としても憂慮しているところですが、京都府内の多くの地域で医師不足等が課題となっております。市としては引き続き医療機関と連携し充実を図ってまいります。



参加者

特別支援教育について、小学生になると放課後デイサービスに行くことになる。

一番困るのが夏休みで、放課後デイサービスに預ける時間は、午前9時から午後4から5時であり、親は仕事を辞めないといけないケースもある。

八幡市は特別支援教育にも力を入れているのは承知しているが、更なる支援をお願いしたい。



市長

お困りは大変よく分かります。放課後デイサービスを行っている事業者は市内でも複数ございますが、夏休み期間のお困りはご指摘の通りだと思います。

いただいたご意見を参考に、市でもできることがないか考えてまいります。



参加者

不登校の子どもがいる親が近くにいて、悩んでおられる。

どこに行けば相談に乗ってもらえるのか。



市長

各学校でもスペシャルサポートルーム等を設置し、相談体制も含め、対応していただいておりますが、旧八幡第五小学校に現在、八幡市教育支援センターを設置し、不登校児童生徒への支援等も行っておりますので、一度ご相談いただけますと幸いです。また、市役所にお越しいただく場合、学校教育についての窓口は学校教育課というところになります。



参加者

男山団地について、子育て世帯が少なくなり、外国人が増えたように感じる。

団地の空室が無いと聞いたが、子育て世帯はもう受け入れないのか。



市長

ご指摘の通り、外国人の労働者の方も住まわれている状況で、男山団地は空室が少なくとお聞きしています。

外国人との共生も大事であると考えており、イベントや防災訓練など、地域コミュニティに馴染んでいただく取組みも行っています。もちろん子育て世帯の方も住んでいただきたいので、男山団地を運営しているUR都市機構と今後の在り方について協議・連携してまいります。



参加者

男山地域で外国人との運動会があり、盛況だった。

このような行事を今後も増やしてほしい。



市長

10月に「やわたすぽ一つまるしえ」を開催させていただきました。

また、男山地域では男山中央センター商店街で「おとこやまハロウィンフェスタ」や「京都版ミニ・ミュンヘン」を開催いただきました。

市民の皆さまが楽しめるイベントや仕掛けを行い、活気づくことで、子育てしやすいまちというイメージを持っていただけるよう頑張っております。